

『第2回芦刈まちづくり勉強会』報告書

令和5年2月25日(土)に開催した「第2回芦刈まちづくり勉強会」の内容をお知らせします。
ご覧いただき、今後のまちづくり勉強会等への参加をよろしくお願いします。

- 日 時：令和5年2月25日(土) 10:30~12:00
○場 所：小城市芦刈地域交流センターあしぱる「多目的ホール」
○講師・ファシリテーター：九州大学大学院 客員准教授 加留部貴行さん
○参 加 者：参加者42名(うち中学生21名)

次 第

1. 開会
2. あいさつ(江里口市長)
3. 加留部さん紹介~グループ内自己紹介
4. 市からの説明(芦刈の人口減少について)
5. 対話①人口減少率の説明を聞いての感想
6. 市からの説明(小城市旧4町についての現状説明)
7. 対話②「芦刈のためにやってみたいこと、住民同士でやりたいこと」
8. 個人で対話②のテーマについてA4用紙に記入後、グループ内で共有
9. アンケート記入
10. 閉会



令和5年2月25日(土) 10:30~12:00、芦刈町で「今後の5年後! 10年後! の未来について語りましょう!」と『第2回芦刈まちづくり勉強会』を開催しました。

当日は、芦刈観瀾校の中学生が多数参加、住民の方や、住民以外の方42名が参加されました。

勉強会は、江里口市長のあいさつから始まり、九州大学大学院の加留部さんのファシリテーションにより、グループごと(各4名~5名)に人口減少率の地図を見ながら対話①「感想は?」、市役所から旧4町の比較などの現状説明後、対話②「芦刈のためにやってみたいこと、住民同士でやりたいこと」をテーマに語り合いました。その後、個人でA4用紙に対話②について書き、グループ内で共有しました。

最後はアンケートにご協力いただき、来年度のスケジュールをお伝えし、終了しました。



感 想

- ・芦刈町が思った以上に過疎化が進んでいるのに驚いた(10歳代)
- ・芦刈を良くしていこうと話合って色々な案が出て良かった(10歳代)
- ・思った以上に施設設備が整っているのが分かった(10歳代)
- ・ほとんどの地域で人口が減少している(20歳代)
- ・今の芦刈が蚊帳の外に置かれている、との発言になるほどと思った(30歳代)
- ・若い子ども達がまちづくりに積極的に参加したい、と言っていたことが印象に残った(50歳代)
- ・勉強会に江里口市長が参加されていたのが、印象に残った(60歳代)
- ・小城市4町の比較ができた(70歳代)
- ・中学生の参加が多いのに感激し子ども達が思っていることが聞けて参考になり良かった(70歳)

芦刈のためにやってみたいこと

住民同士でやりたいこと

- ・ボランティア活動に参加する
- ・芦刈の魅力を他の人に伝える
- ・まちづくりの中核を担う組織を作ってほしい
- ・医療モールを誘致してほしい
- ・オートキャンプ場を4倍くらいにして、グランピングもできたらいい
- ・勉強を頑張って芦刈中の学力を上げる
- ・芦刈の過疎の実態について知り、考え、広めていく
- ・子育て世代の遊ぶ場所

- ・地域のボランティアに参加する
- ・自分たちの意見を周りに発信する
- ・芦刈をどうしていきたいか、自分の意見を持つ
- ・地域の人たちと交流を深める
- ・イベントやボランティアなどに参加する
- ・芦刈の今の環境を保つ
- ・住みやすい町になってほしい
- ・市民団体が少ないことがわかり、協力したい
- ・郷土芸能の復活
- ・高齢者への思いやり
- ・幼児と高齢者のふれあいの場所づくり
- ・知り合いの高齢者の方がいらしゃったら、一緒に車に乗せて連れて行ってあげる
- ・あいさつ

- ・地域づくり、人が集まる場所を増やして、その人達が楽しむようになったら、活用したい
- ・芦刈町での地域づくり、まちづくりに積極的に関わっていききたい
- ・芦刈町に住み、暮らす子ども達が芦刈を好きになって、それが循環になるようにできるといいと思う
- ・他の地域の人に芦刈の行事、祭りを知ってもらいたい
- ・町を豊かにする活動には積極的に参加したい
- ・一緒にまちづくりを話して行動していきたい
- ・協働の目線を大事に、フラットな関係性の中で対話できる関係性を持ちたい
- ・互いを尊重できるまちづくりをやっていきたい
- ・小さなことからコツコツと！

- ・家を建てそうな人に芦刈をPRしたい
- ・静かでのどかな町！人口が増えて活気がある町になってほしい
- ・スーパーや色々な建物を建てる
- ・芦刈町のいい所をPRする
- ・大きな建物をつくる
- ・芦刈の自然の良さ、緑をアピールする

- ・有明海特産を使った（海産物、農産物）扱った回転寿司屋
- ・ゴミ拾い
- ・芦刈の人とたくさん話をする
- ・SNSなどで芦刈の良いところを伝える
- ・人目につく、遊び場所の設置

- ・芦刈の良さ強みの掘り起こし（再認識・磨き上げ）
- ・芦刈の店で買い物をする
- ・芦刈の良さをいろんな人に伝える
- ・芦刈のPR
- ・芦刈でたくさん物を買う

- ・地域活動に参加する
- ・特産物を使った物を商品化して販売する（直売所）
- ・地域のネットワークの構築

- ・若者が住みたいと思えるまちづくり
- ・芦刈の良さを知ってもらいイベントを開く
- ・遊べる場所が欲しい
- ・芦刈の良さを発信していく

- ・芦刈だけのSNSアカウントをつくる
- ・空き家情報が分かるチラシをつくる
- ・芦刈のいいところ、珍しいところ（ムツゴロウ）などをPRする
- ・残したいもの、自慢できること

この報告書は市のHPからもご覧になれます

